



平成 28 年 2 月 1 日

各 位

キーウェアソリューションズ株式会社
代表取締役社長 三田 昌弘
(コード番号：3799 東証第二部)

問い合わせ先 経営企画部 広報 IR 室長 後根 桂二
(電話 03-3290-1111)

(訂正)「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 28 年 1 月 29 日に発表いたしました「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正がありましたので、下記の通りお知らせします。訂正箇所については下線を付して表示しております。なお、数値データについては、訂正はありません。

訂正箇所

「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 2 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(前略)

① システム開発事業

受注高は 7,243 百万円(前年同期比 886 百万円減、10.9%減)、売上高は 7,178 百万円(同 601 百万円減、7.7%減)、営業損失は 206 百万円(前年同期は 356 百万円の損失)となりました。

今期は、官庁系・運輸系の既存顧客からのシステム更新等の大型案件が端境期に当たり、これら顧客からの需要の減退が予想されたことから、メディア系・流通系などを中心に積極的に営業活動を推し進めた結果、メディア系においては新規の大型案件、流通系では既存案件の拡大などの受注を獲得いたしました。運輸系においても新規案件の獲得があったものの、需要の減退に伴う既存案件の減少を補うまでにはならず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、不採算プロジェクトの抑制を一層強化したことなどにより、当第 3 四半期連結会計期間の 3 ヶ月間では利益計上となり、前年同期から損失を縮小させることができました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

① システム開発事業

受注高は 7,243 百万円(前年同期比 886 百万円減、10.9%減)、売上高は 7,178 百万円(同 601 百万円減、7.7%減)、営業損失は 206 百万円(前年同期は 356 百万円の損失)となりました。

今期は、官庁系・運輸系の既存顧客からのシステム更新等の大型案件が端境期に当たり、これら顧客からの需要の減退が予想されたことから、メディア系・流通系などを中心に積極的に営業活動を推し進めた結果、メディア系においては新規の大型案件、流通系では既存案件の拡大などの受注を獲得いたしました。運輸系においても新規案件の獲得があったものの、需要の減退に伴う既存案件の減少を補うまでにはならず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、不採算プロジェクトの抑制を一層強化したことなどにより、前年同期から損失を縮小させることができました。

(後略)

以 上